

(2022 年度) ちゅうでん教育振興助成

高等専門学校の一部 (2023 年度助成)

成果報告書

学校名・申込代表者	国立高専機構阿南工業高等専門学校・坪井泰士
活動・研究のテーマ	高専における「担任教員機能」の可視化とその機能獲得のための FD コンテンツ作成
<p>〈活動・研究の意義および活動報告〉</p> <p>【活動・研究の意義】</p> <p>「自分は必要とされている存在であるか」という問いに「いいえ」と回答する学生は 21.4% (学生の健康白書 2015, 一般社団法人国立大学法人保健管理施設協議会) もおり, 小・中・高等学校及び特別支援学校におけるいじめの認知件数は前年度に比べ 19.0%増加 (令和 3 年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について, 文部科学省) しているように, 学生は, 様々な問題を抱えている。高専は中学校卒業生を受け入れて 5 年間の一貫教育を行う。そこには, 高校生年齢の学生もいれば, 実社会に就職する学生もいる。発達段階は多様で, 学生が抱く不安や悩みも様々である。</p> <p>このような学生に寄り添い, 最も近くで学生を支援するのが担任教員である。しかし, 高専教員のほとんどは発達科学などを学んでおらず, 年齢ごと (例えば, 高校生年齢と大学生年齢) の学生特性に関する知識やそれに見合った指導の実践方法も学んでいない。また, 高専教員を育む研修制度は, 国立高専機構において十分に整備されてはいない。</p> <p>この分野における先行研究に「これからの高専における学生指導について—学級担任論—」(鳴海雅也, 函館高専紀要第 47 号, 2013) がある。これは教育基本法第二条「教育の目標」にもとづく概念を噛み砕き, それと照応させながら担任教員の役割に関する著者の考えを個人的に整理するのにとどまる。<u>本研究は, 複数高専の一定数の高専教員が考える担任教員の機能を質的に分析し, 学生視点も活用しながらその機能について考察する点が, 新しい。</u></p> <p>教育現場に立つ高専教員が, 実際にどのような担任教員機能を重要視しているか, また, 学生がどのような担任機能を求めているのかを可視化し, そこで必要とされる担任教員機能を獲得するのに有効な FD コンテンツを作成して共有することは, 多様な学生を育む高専における教育力 (担任教員機能) を必ず向上させ, 高専生への適切な支援を可能とする。</p>	

【活動・研究の報告】

本研究と密接に連携する研究（科研費 JP 23K02517）「高専学生をたしかに育む実践的担任教員スキルの可視化とモデル化」において、「担任教員機能」の可視化を行った。

複数の高専を訪問し、および研究協力教員を招集し、担任教員のあり方についてインタビューした。「学生を育むために、日常、行っていることは何か / その理由は何か」の問いを通して、各教員が考える担任教員機能に迫った。

このインタビューをふまえ、「授業のほか、学生指導・クラスづくり・メンタルヘルスケア」など担任教員機能を含むテーマを対象に、中堅の高専教員が具体例をあげながら高専教員のあり方を説明するショートビデオを新たに9本作成した。

- ・学生との関係づくり
- ・学生との距離感
- ・学生を見守るということ
- ・普段のクラスづくり
- ・孤立が心配な学生への支援
- ・学生をよりよく育むための教員の姿勢
- ・社会で活躍できる人材育成（PBLの導入）
- ・社会で活躍できる人材育成（キャリア教育）
- ・懲戒の意味

これは、職員室での教員間の会話（相談や情報交換）にあたる。これにより、高専教員は、いつでもどこでも、担任教員として必要な機能の基礎について獲得できる。

すでにその成果物であるは、国立高専機構の次期担任教員研修（令和6年3月11日12日実施、全国の次期担任となる高専教員が参加）で使用され、その研修の中核コンテンツとなった。

また、第29回高専シンポジウム（2024年1月27日、於長岡市）において、成果発表を行った。

【活動・研究の meeting および調査】

- 令和5年7月26日日（長岡市）：外山茂浩（長岡高専），碓智徳・小泉卓也（宇部高専），坪井
- 令和5年8月30日31日，9月1日（豊田市）：中村基訓（旭川高専），小林睦・小笠明信（豊田高専），碓智徳・小泉卓也（宇部高専），井上昌信（北九州高専），安田武司（阿南高専），坪井
- 令和5年10月18日（八王子市）：小林幸人（高専機構本部），坪井
- 令和5年11月14日（宇部市）：碓智徳・小泉卓也（宇部高専），坪井
- 令和6年2月7日（熊本市）：村山浩一（熊本高専），坪井
- 令和6年2月21日（津山市）：塩田祐久ほか4名（津山高専），段下剛志・増井詠一郎（徳山高専），坪井
- 令和6年3月6日（長岡市）：和久井直樹ほか5名（長岡高専），坪井

【活動・研究に関連する成果発表（関連研究分を含む）】

- 令和6年1月27日（長岡市），第29回高専シンポジウム：小林睦（豊田高専），坪井
「高専教員は学生の期待に応えられているのか」